

KIT虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先:虎ノ門事務室[メールまたは電話])

※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科 目 名	科 目 コ ー ド	単 位 数	開 講 期	講 義 形 式
戦略思考要論 Essentials of Strategic Thinking	Z 100	1 単位	1学期 4学期	ハイフレックス
科 目 分 野	課 程 領 域			
戦略思考・コンサルティング	イノベーションマネジメント共通科目			
担 当 教 員 名	メ ル ア ド レ ス	連 絡 方 法 / オ フ ィ ス ア ウ イ		
三谷 宏治	—	土曜日		

関 連 し て い る 科 目 (履 修 推 揾 科 目)

ほぼ全科目

授 業 の 概 要 と 到 達 目 標

授業の主題と概要

ビジネスにおいて必要なのは、単なるロジカル・シンキング力でなく、ビジネスにおける様々な状況を俯瞰的かつ連携的に捉えられる「戦略思考」能力である。超基礎である「重要思考」とともに、様々な戦略論やツールを統合するフレームワークとしての「B3C」を中心として、独自の思考スキルを当専攻の受講生全員が身につけることを、この科目の目的とする。

- ① 企業戦略・変革の本質的な成功・失敗「メカニズム」(要因、ではない)を理解する。そのための、基礎的な思考力を鍛えることがこの講義の第一義である
- ② 基礎的思考力の一つがロジカル・シンキングの一部である「重要思考」である。これは思考や発言のあらゆる機会を捉えて試み、フィードバックすることで徹底していく。
- ③ もう一つが「B3C」等であるが、これらは主に(ミニ)ケーススタディを通じて、繰り返し練習する。

到達(修得)目標

1. 全てのビジネス思考の基礎となる「重要思考」を修得する
2. 戦略思考の基礎となる「重要思考」「B3Cフレームワーク」を修得する

受講対象者

イノベーション・マネジメント専攻の全受講生・科目等履修生

履 修 上 の 注意 事 項 や ア ド バ イ ス

※2学期以降の「戦略思考特論」「CRM特論」「戦略思考演習」受講希望者は、単位修得が必須

事前に、ロジカル・シンキングについては下記テキストなどで予習・練習しておくこと。また基本ビジネス・経営用語の知識を前提とするので、『経営戦略全史』『ビジネスモデル全史』は講義開始時までに熟読しておくこと。

★出席はきわめて重要。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	<input type="radio"/>	X1: 企画	<input type="radio"/>
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	<input type="radio"/>
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力		X3: 調査・分析	<input type="radio"/>
Y4: マネジメント	<input type="radio"/>	Z4: プレゼンテーション力	<input type="radio"/>	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案		Z5: 変革推進力	<input type="radio"/>	X5: 変革	
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	<input type="radio"/>	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イ ベ ン ト / ケ ース		教 育 技 法	マ テ イ リ ア ル / ツ イ ル
1 独自コンテンツの講義		講義	PPT
2 ロジカル・シンキング演習		演習	
3 トレッサ横浜		ミニケーススタディ	当日配布
4 サバイバル 1. 2.		ミニケーススタディ	当日配布
5 スタインウェイ&サンズ		ケーススタディ	要 購入
6 DELL		ケーススタディ	要 購入

評価の方法		
(総合評価項目と割合)		
出席	10%	
クラス貢献	50%	クラス貢献はクラスでの発言の量と質を加味する。発言がなければ当然、不可となるので注意のこと。
最終レポート	40%	毎回、事務室より出席簿を準備する。
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	ケース:スタインウェイ・アンド・サンズ(9-607-J17、HBS)* ケース:デル・コンピュータ(9-705-J04、HBS)* ①『[新版]一瞬で大切なことを伝える技術』三谷宏治(三笠書房) ②『経営戦略全史[完全版]』三谷宏治(日経ビジネス人文庫)	①②は基礎知識として講義開始時までに目を通しておくこと。 ケースは各自が購入し、事前に熟読しておくこと。 * https://harvard.bookpark.ne.jp/ にて、スタインウェイとデルを購入の際は、各々 607J17、705J04で検索できる。
参考図書 (購入は任意・講師推薦)	③『一瞬で大切なことを決める技術』三谷宏治(中経の文庫) ④『実例で必ず身につく一瞬で大切なことを伝える技術』(かんき出版) ⑤『戦略思考ワークブック』三谷宏治(ちくま新書) ⑥『ビジネスモデル全史[完全版]』三谷宏治(日経ビジネス人文庫)	
参考URL		
適宜紹介予定		

コマ	学習内容		事前準備・課題	担当者	時間
1.2	重要思考と伝える・決める力演習		②『経営戦略全史』と①『[新版] 伝える技術』を読んでおく	三谷	180分
	イベント	ミニケーススタディ: サバイバル1、サバイバル2(当日配布)			
3.4	戦略思考フレームワークとミニケース演習		③『決める技術』、④『実例 伝える技術』、⑤『戦略思考ワークブック』で復習しておく	三谷	180分
	イベント	ミニケーススタディ:トレッサ横浜分析(当日配布)			
5.6	B3C:市場の定義と分析力		『スタインウェイ』の熟読と、市場等の分析	三谷	180分
	イベント	ケーススタディ:スタインウェイ&サンズ			
7.8	B3C:コスト構造と価値分析		『デル・コンピュータ』の熟読と、コスト構造等の分析	三谷	180分
	イベント	ケーススタディ: DELL			

2026.01

※ 講義日程は、学事ポータルの講義日程表をご参照ください。

※ 学習内容、スケジュール、講義形式は、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。